

2022 年 8 月 31 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社高島屋で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、株式会社高島屋（代表取締役社長 村田 善郎、以下 当社）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]（以下 LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下 本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下 SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、下記 SPT を設定し、2026 年 2 月に終了する事業年度における達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。さらに、SPT が未達成の場合、当社が脱炭素に向けた取り組みや人権保護活動など、環境・社会課題解決を目的とする組織に対して寄付を行い、その活動を支援するという条項が含まれています。貸し手による動機付けのみならず、仮に SPT が未達成となった場合においても、借り手による寄付という形で、双方が環境・社会に貢献するという点で特徴ある設計になっております。

【サステナビリティ・パフォーマンスターゲット】

領域	重点課題	KPI	数値目標
環境	廃棄プラスチック削減	廃棄プラスチックリサイクル率	99.0%
		廃棄総量削減（2019 年比）	▲26.3%
社会	ダイバーシティ推進	女性管理職比率	35.4%
	働き方改革推進	有給休暇取得率	80.0%

当社は、事業活動を通じ、SDGs の達成に強く貢献・寄与できる 5 つのテーマ^[2]から、当社がめざす将来社会を見据え、環境・社会領域において 10 項目の重点課題を設定しております。本契約において設定した SPT はいずれも重点 10 項目に該当するものであり、SPT の達成は当社の ESG 経営を推進する上で重要な役割を担うものと考えております。

【本ローンの概要】

契約締結日 2022 年 8 月 31 日
期間 7 年間
金額 120 億円
資金使途 運転資金

また、本契約では、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」

を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

- [1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。
- [2] 「地球環境への配慮」、「まちづくり」、「アクセスフリー・ストレスフリーな商品・施設」、「持続可能な商品・サービスの提供」、「働きがいの創出」

以 上